



令和8年度帯広市立森の里小学校学校便り

本校
HP



森の里

学校教育目標

深く考え、心豊かな、思いやりのある たくましい子

めざす子どもの姿

森の里の「あ・い・う・え・お・か・き・と・チャレンジ」

- ㊦いさつ ㊦じめ× ㊦んどう大好き ㊦がおになる言葉
- ㊦れいの言葉 ㊦いわ と がくしゅう大事 ㊦まりを守る
- ㊦くしょに親しむ ㊦チャレンジ

令和8年7月10日発行 No.7 (文責 新津 貴裕)

めざす学校 『心ときめく学び合い 笑顔と優しさあふれる 森の里小学校』

シリーズ 森の里の「あ・い・う・え・お・か・き・と・チャレンジ」

言葉の魔法で、みんな笑顔に!~親子でつかおう、心がぽかぽかする言葉~

本校がめざす学校像『心ときめく学び合い 笑顔と優しさあふれる 森の里小学校』を掲げ、早いもので3ヶ月が経ちました。210名の「森の里っ子」たちは毎日元気に学校生活を送っています。新しい学年にもすっかり慣れ、教室にはたくさんの笑顔があふれています。

学校で子どもたちを見ていると、あることに気が付きます。それは、「言葉ひとつで、子どもの表情は劇的に変わる」ということです。友達から優しい言葉をかけられたとき、先生から褒められたとき、子どもたちの顔には、ぱっと大輪の花が咲いたような笑顔が浮かびます。

言葉には、人の心を傷つける刃(やいば)になる強さがある一方で、誰かを心の底から笑顔にする「魔法」のような力もあります。それは学校だけでなく、子どもたちにとって一番の安心安全な場所である「家庭」でも同じです。

人が一番笑顔になるのは、誰かから「心がつながる言葉」をかけてもらったときです。今回は、学校でもお家でもすぐに使える「笑顔の魔法の言葉」を3つご紹介します。ご家庭での会話のヒントにいただければ幸いです。

①「ありがとう」

何かをしてもらったときはもちろん、「いつも元気に学校に行ってくれてありがとう」「お手伝いしてくれてありがとう」など、日常の小さなことに言葉にして伝えてみましょう。言った人も言われた人も、一気に笑顔になれる一番の魔法です。

②「だいじょうぶだよ」

子どもが失敗して落ち込んでいたりときや、不安そうなとき、「だいじょうぶだよ」と声をかけてみてください。大好きな親からのその一言だけで、子どもは心がほっと安心し、また一步を踏み出す元気が湧いてきます。

③「いいね!」「すごいね!」

子どものいいところや、頑張りを見つけて認める言葉です。「よく気が付いたね」「最後まで頑張ったね」と具体的に褒めることで、お互いにハッピーな気持ちになります。



お家は「言葉の貯金箱」です!

子どもたちが学校で優しい言葉を使えるようになるのは、ご家庭でたくさんの温かい言葉をシャワーのように浴びているからです。親の言葉は、子どもの心の栄養となります。日々の忙しさの中で、つい「早くしなさい」「だめでしょ」と言いたくなることもあるかもしれません。そんなときは、子どもが小さなお手伝いをしてくれたときに「助かったよ、ありがとう」、何かに挑戦しているときに「頑張っているの、見てるよ」と声をかけてみてください。

大好きな家族から認められた言葉は、子どもの心に「自信」という名の笑顔を咲かせます。ぜひ今日のごはんのときにでも、「最近、学校でどんな嬉しい言葉をかけられた?」などと、親子で言葉について話してみてくださいね。

学校でも、子どもたちが温かい言葉に包まれ、毎日笑顔で過ごせるよう、職員一同心を込めて関わってまいります。ご家庭でもぜひ、今日から「笑顔の魔法」をたくさん使ってみてください。

笑顔のメリット 『笑う門には福来たる』⇒いつも笑い声が満ち、和気藹々とした家には、自然と幸福が巡ってくるものである。笑顔は周りに伝染します!笑顔は、幸せと元気を生み出してくれる、もっともシンプルな習慣です。

★ 体験的な活動からの学び ★

子どもたちの学びの一つとして、各学年に体験的な活動を通した学びが位置付けられています。それぞれの活動には、ねらいがあり、活動する価値があります。つまり、体験させることが目的ではなく、体験を通して学ぶことをねらいとしており、活動を通して「豊かな心を育む」こと、「確かな学力を身に付ける」ことに効果があると考えます。子どもたちは体験的な活動を通して、自分や友達の成長を喜ぶ、美しい自然に感動する、他者との共生や異なるものへの寛容さなどの豊かな心を育むことができます。さらには、めあてに向かって試行錯誤することを通して、工夫したり、粘り強く取り組んだりすることの面白さや楽しさを感じ、主体的に学習に取り組む態度を育んだりすることができます。

各学年様々な体験的な学習が実施されています。子どもたち一人一人は、体験を通し多くの学びを積み上げたことと思います。各活動には多くの外部講師の方のお力添えがありました。心より感謝です。



日頃の見守りへの感謝と、不審者への注意喚起について

日頃より、子どもたちの登下校時の安全見守り活動にご協力いただき、心より感謝申し上げます。特に先月、校区内で不審者情報があつた際には、保護者の皆様や「森のくまさん見守り隊」の皆様に、多大なるご協力をいただきました。保護者や地域の皆様の温かい目が、何よりの防犯となり、森の里っ子の安全を支えてくださっています。本当にありがとうございます。

さて、6月中旬から下旬にかけて、本校校区内において「停車中の車内から、通行中の児童がスマートフォンで撮影される」という事案が数件発生いたしました。幸い実害はありませんでしたが、今後も決して油断はできません。

学校では子どもたちに対し、「知らない車には絶対に近づかない」「不審なときは『いかのおすし』を徹底し、大声を出して逃げる」といった指導を改めて行ったところですが、ご家庭におかれましても、登下校のルートや「こども110番の家」の場所などについて、今一度お子様とご一緒にご確認をお願いいたします。



まもなく迎える夏休みを前に、子どもたちが自ら安全に身を守るよう、学校でも引き続き指導に努めてまいります。皆様におかれましても、登下校時や放課後の温かい見守りとともに、もし不審な車両や人物を見かけた際には、速やかに警察へ通報していただくなど、重ねてご協力をよろしくお願いいたします。